

2025年 4月 1日 発行 一般社団法人 東京都建築士事務所協会 木造専門委員会版

木造工事特記仕様 その1

1. 一般事項

(1) 適用範囲

本特記仕様及び標準図は木造の建築物又は木造と組積造その他の構造とを併用する建築物のうち、在来軸組工法による木造部分の構造耐力上主要な部分の設計及び工事に適用する。

(2) 設計図書

設計図書とは指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）、特記仕様、設計図、標準図、標準仕様書をいう。

(3) 標準仕様書

設計図書に記載なきものは、次の仕様書による。

☐「住宅金融支援機構監修・木造住宅工事仕様書」

(年版)

☒「国土交通大臣官房官庁営繕部監修・公共建築木造工事標準仕様書」

(令和7 年版)

☐

上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。

(4) 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

①指示書（現場説明書及び質疑回答書）

②特記仕様

③設計図（伏図、軸組図、部材リスト、詳細図など）

④標準図

⑤標準仕様書

(5) 疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には工事監理者に申し出、その処理方法について協議する。

(6) 工事監理者の承認を必要とするもの

☒製作工場 ☒製作要領書 ☒施工計画書

☒施工図 ☒プレカット図

(7) 各種試験・検査報告書の提出

工場生産者、施工者は、その工事毎に自主検査を行い、記録を作成、工事監理者の承認を得て保管する。

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに工事記録を工事監理者に提出する。

2. 建築物の構造内容

(1) 建築場所

東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部

(2) 工事種別

☒新築 ☐増築 ☐改築 ☐ ☐

(3) 階数

地下 階 地上 階 塔屋 階

(4) 高さ

最高高さ m、 軒高 m

(5) 主要用途

☐住宅 ☐共同住宅 ☐店舗 ☐事務所 ☒集会所

(6) 建物重量に係る仕様種別

☒ 屋根の仕様 金属板ぶき 500 N/㎡

☒ 外壁の仕様 サイディング 600 N/㎡

☒ 天井断熱材 100 N/㎡ ☒ 外壁断熱材 70 N/㎡

太陽光発電設備 ☒有 (200 N/㎡ kN) ☐無

(7) 構造計算等

☒壁量計算

☒四分割法計算 ☐偏心率

☐N値計算

☐仕様規定による

☐簡易な構造計算（許容応力度計算）による

☐高度な構造計算（許容応力度等計算）による

X方向ルート - ()

Y方向ルート - ()

(8) 設計荷重 （許容応力度計算の場合）

(a) 主な積載荷重 (N/㎡)

室 名	床 用	架 構 用	地 震 用

(b) 1次設計用地震力

Co= Z= Rt= K(地下)=

地盤の種別： ☐第1種 ☐第2種 ☐第3種

(c) 風荷重

地表面粗度区分 基準風速 Vo= m/sec

(d) 雪荷重

垂直積雪量 cm 設計用雪荷重 N/cm/㎡

(e) その他特殊荷重

3. 地 盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

☒有（☒敷地内 ☐近隣）

☐スクリーウエイト貫入試験（旧 スウェーデン式サウンディング試験）

☐ボーリング調査 ☐標準貫入試験 ☐土質試験

☐平板載荷試験 ☐水平地盤反力係数の測定

☐液状化判定

☒コーン指数qcが 400kN/㎡ 以上となる条件で造成された敷地

☐未調査(調査予定 ☐有)

着工前までに敷地内調査を行い変更の有無に関わらず必要な手続きを行うこと。

※地盤調査結果は、必要に応じて諸官庁へ提出すること。

4. 地業・基礎工事

(1) 直接基礎

☒ベタ基礎 ☐布基礎 ☐独立基礎

深さGLー m 支持層ー

長期許容支持力度 kN/㎡ 載荷試験 ☐有 ☒無

(2) 地盤改良

☐浅層混合処理工法 ☐深層混合処理工法

☐

深さ GLー m

長期許容支持力度 kN/㎡ 載荷試験 ☐有 ☐無

注)「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：（一財）日本建築センター」を参考とする

(3) 杭基礎

☐杭工法：

支持層ー 杭先端の深さGLー m

杭の長期許容支持力 kN/本

試験杭（ ☐有 本・ ☐無 ）

(☐打ち込み・ ☐載荷・ ☐)

提出書類 ☐ 施工計画書 ☐ 杭施工結果報告書

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) 共通事項

・コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関しては JASS5（2022 年版）による。

・コンクリートの調合、打込み、養生および品質管理方法は、工事監理者の承認を得ること。

(2) コンクリート

(レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)

・コンクリートの品質は下記とし、発注するコンクリートの呼び強度は、品質基準強度 (Fq) に構造体強度補正値を加えたものとする。

部 位	種 類	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	品質基準強度 Fq (N/mm ²)	スランブ (cm)	備 考
基 礎	<input checked="" type="checkbox"/> 普 通	21	24	15	
捨てコン	<input checked="" type="checkbox"/> 普 通	18		18	

コンクリートの調合は以下を標準とする。

・水セメント（水粉体）比 65%以下 ・単位水量 185kg/m³以下

・空気量 4.5±1.5% ・単位セメント量 270kg/m³以上

・塩化物量 0.3kg/m³以下

(3) 鉄筋

・鉄筋の品質は下記とする。 (JIS G 3112)

種 類	径	使用箇所	継 手
<input checked="" type="checkbox"/> SD295	D16以下	すべて	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね <input type="checkbox"/> 圧接
<input type="checkbox"/> SD345			<input type="checkbox"/> 重ね <input type="checkbox"/> 圧接
<input type="checkbox"/> SR235			
<input type="checkbox"/> 溶接金網※1			

※1 JIS G 3551

注) 住宅用ユニット鉄筋を使用する場合は、（一財）日本建築センターの評定を取得した製品を使用すること。現場でのスポット溶接は禁止する。

6. 木造躯体工事

・構造耐力上主要な部分で特に腐食、腐朽又は摩損のおそれのあるものには、腐食、腐朽若しくは摩損しにくい材料又は有効なさび止め、防腐若しくは摩損防止のための措置をした材料を使用しなければならない。

・構造耐力上主要な部分に使用する木材の品質は、節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等による耐力上の欠点がないものでなければならない。

・梁、桁その他の横架材には、その中央部付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。

・本項の内容は特記無き限り、日本農林規格に準拠する。

・木造躯体工事に使用する材料の品質は、下記のとおりとする。

(1) 木質材料

(a) 製材

部 位	樹種	区分	等級	含水率	備考
土台、大引	米松	K3	無等級	15%以下	
梁	米松又は赤松		E105以上	15%以下	
間柱、筋かい	杉		無等級	15%以下	
根太 ・母屋	米松又は赤松		E105以上	15%以下	
柱	米松		E95以上	15%以下	
柱	桧		E95以上	15%以下	

・構造耐力上主要な部分に用いる材料は機械等級区分製材を用いること。

・柱の乾燥の際、背割りを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。

・強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等注意到意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。

・材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級 1 級相当とする。

(b) 構造用集成材

品名・基準	使用部位	性能	使用環境
<input type="checkbox"/> 構造用集成材（同一等級構成集成材）			
<input checked="" type="checkbox"/> 構造用集成材（対称異等級構成集成材）	トラス	E105-F300	
<input type="checkbox"/>			

(c) 構造用単板積層材 (LVL) JAS0701

品名・基準	使用部位	ヤング係数	せん断等級	使用環境
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

(d) 構造用面材

部 位	品 名	規 格
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		

・認定品の面材を使用する場合は各工法の認定書により施工すること。

工事件名

水防センター建設工事

図面図資

木造工事特記仕様 1

謄

-

日野市総務部建築営繕課

株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所
(東京都知事登録第58345号)
一級建築士第214974号 杉浦友哉

作成年月日

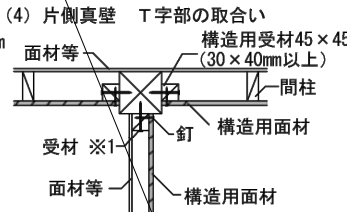
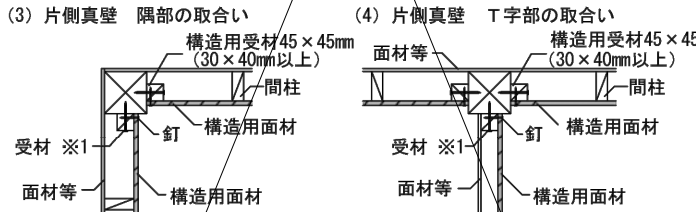
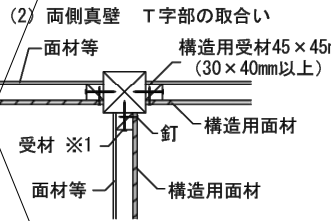
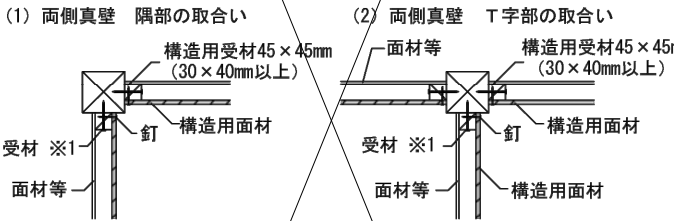
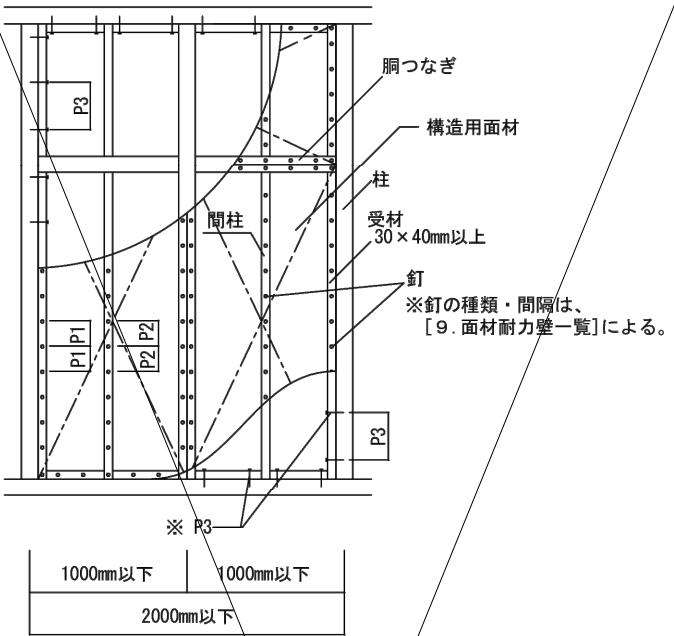
令和7年 月 日

図面図資

S01

木造工事標準図（3）

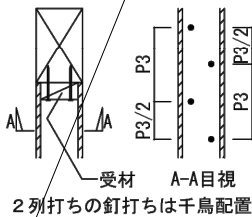
7. 真壁



() 内の数値は最小断面を示す。

※1 受材の釘の種類・間隔は [9. 面材耐力壁一覧]による。

両面貼りの受け材仕様



受け材の釘打ちを [9. 面材耐力壁一覧]に記す規定の間隔で2列で釘打ちする場合は千鳥配置とすること。

受材を打ち付ける釘の種類は、受材の厚みが30mmの場合のはN75、厚みが45mmの場合のは N90とし、他は特記とする。

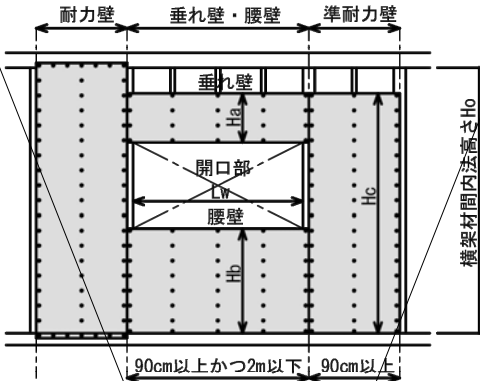
P3 : [9. 面材耐力壁一覧]による間隔。

8. 準耐力壁

準耐力壁、垂れ壁・腰壁の壁倍率

①木ずりの場合 壁倍率= 0.5 × $\frac{\text{木ずりの高さの合計}}{\text{横架材間内法高さ}}$

②面材の場合 壁倍率= 昭56建告1100号別の倍率 × 0.6 × $\frac{\text{面材の高さの合計}}{\text{横架材間内法高さ}}$



準耐力壁、垂れ壁・腰壁の成立条件

- 1) 面材は昭56建告1100号に示されたものとし、昭56建告1100号に定める仕様で、柱及び間柱に釘打ちとする。(面材の釘仕様は木造工事標準図(3)・8. 面材耐力壁一覧参照)
- 2) 木ずりは柱及び間柱に釘打ち(2-N50)とする。
- 3) 面材高さ(上図のHa、Hb)が36cm以上であること。
- 4) 準耐力壁は Hc≧0.8Hhであること。また、壁長は90cm以上とする。
- 5) 垂れ壁・腰壁は、上図のLwは90cm以上かつ2m以下とし、耐力壁または準耐力壁ではさまれていること。

9. 面材耐力壁一覧

採用	面材の種類	種 別	厚 み	釘の種類	外周釘間隔 P1[mm]	内周釘間隔 P2[mm]	壁倍率	受材の釘 P3[mm]	備 考
<input type="checkbox"/>	構造用合板	大壁・大壁床勝ち	mm (内壁5mm以上) (外壁:特類7.5mm以上)	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.5	N75@200以下	
<input type="checkbox"/>	構造用合板	大壁・大壁床勝ち	mm (9mm以上)	CN50又はCNZ50	75mm	150mm	3.7	N75@120以下	
<input type="checkbox"/>	構造用合板	真壁・真壁床勝ち	mm (内壁5mm以上) (外壁:特類7.5mm以上)	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.5	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用合板	真壁・真壁床勝ち	mm (9mm以上)	CN50又はCNZ50	75mm	150mm	3.3	N75@200以下	
<input type="checkbox"/>	構造用パネル	大壁・大壁床勝ち	mm (9mm以上)	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.5	N75@200以下	
<input type="checkbox"/>	構造用パネル	大壁・大壁床勝ち	mm (9mm以上)		75mm	150mm	3.7	N75@120以下	
<input type="checkbox"/>	構造用パネル	真壁・真壁床勝ち	mm (9mm以上)		150mm	150mm	2.5	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用パネル	真壁・真壁床勝ち	mm (9mm以上)		75mm	150mm	3.3	N75@200以下	
<input type="checkbox"/>	構造用ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ	大壁・大壁床勝ち	mm	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.5	N75@200以下	
<input type="checkbox"/>	構造用ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ	大壁・大壁床勝ち	mm		75mm	150mm	4.3	N75@120以下	
<input type="checkbox"/>	構造用ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ	真壁・真壁床勝ち	mm		150mm	150mm	2.5	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ	真壁・真壁床勝ち	mm		75mm	150mm	4.0	N75@120以下	
<input type="checkbox"/>	構造用MDF	大壁・大壁床勝ち	mm	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.5	N75@200以下	
<input type="checkbox"/>	構造用MDF	大壁・大壁床勝ち	mm		75mm	150mm	4.3	N75@120以下	
<input type="checkbox"/>	構造用MDF	真壁・真壁床勝ち	mm		150mm	150mm	2.5	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用MDF	真壁・真壁床勝ち	mm		75mm	150mm	4.0	N75@120以下	
<input type="checkbox"/>	ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ	大壁・大壁床勝ち	mm (12mm以上)	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.5	N75@200以下	
<input type="checkbox"/>	ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ	真壁・真壁床勝ち	mm (12mm以上)		150mm	150mm	2.5	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	せっこうﾎｰﾄﾞ	大壁・大壁床勝ち	mm (12mm以上)	GNF40, GNC40, WSN又はDTSN	150mm	150mm	0.9	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	せっこうﾎｰﾄﾞ	真壁・真壁床勝ち	mm (12mm以上)		150mm	150mm	1.0	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	強化せっこうﾎｰﾄﾞ	大壁・大壁床勝ち	mm (12mm以上)	GNF40, GNC40, WSN又はDTSN	150mm	150mm	0.9	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	強化せっこうﾎｰﾄﾞ	真壁・真壁床勝ち	mm (12mm以上)		150mm	150mm	1.0	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用せっこうﾎｰﾄﾞ A種	大壁	mm (12mm以上)	GNF40, GNC40, WSN又はDTSN	150mm	150mm	1.7		
<input type="checkbox"/>	構造用せっこうﾎｰﾄﾞ A種	大壁床勝ち	mm (12mm以上)		150mm	150mm	1.6	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用せっこうﾎｰﾄﾞ A種	真壁・真壁床勝ち	mm (12mm以上)		150mm	150mm	1.5	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用せっこうﾎｰﾄﾞ B種	大壁	mm (12mm以上)	GNF40, GNC40, WSN又はDTSN	150mm	150mm	1.2		
<input type="checkbox"/>	構造用せっこうﾎｰﾄﾞ B種	大壁床勝ち	mm (12mm以上)		150mm	150mm	1.0	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	構造用せっこうﾎｰﾄﾞ B種	真壁・真壁床勝ち	mm (12mm以上)		150mm	150mm	1.3	N75@300以下	
<input type="checkbox"/>	ハードボード	大壁	mm (5mm以上)	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.0		
<input type="checkbox"/>	硬質木片セメント板	大壁	mm (12mm以上)	N50又はNZ50	150mm	150mm	2.0		
<input type="checkbox"/>	シーリングボード	大壁	mm (12mm以上)	SN40	100mm	200mm	1.0		
<input type="checkbox"/>	炭酸マグネシウム板	大壁	mm (12mm以上)	GNF40orGNC40	150mm	150mm	2.0		
<input type="checkbox"/>	パルプセメント板	大壁	mm (8mm以上)	GNF40orGNC40	150mm	150mm	1.5		
<input type="checkbox"/>	ラスシート <small>外装亜鉛鉄板の厚さ0.4mm以上 メタルラスの厚さ0.6mm以上</small>	大壁	mm	N38又はNZ38	150mm	150mm	1.0		
<input type="checkbox"/>	木ずり								
<input type="checkbox"/>	土塗り壁								
<input checked="" type="checkbox"/>	面格子壁								S-14図参照
<input type="checkbox"/>	落とし込み板壁								
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									
<input type="checkbox"/>									

準耐力壁・垂れ壁等

採用	面材の種類	種 別	厚 み	釘の種類	外周釘間隔	内周釘間隔	基準倍率	備 考
<input type="checkbox"/>	木ずり	大壁		N50	150mm	150mm	0.5	
<input type="checkbox"/>	構造用合板	大壁	mm (内壁5mm以上) (外壁:特類7.5mm以上)	N50	150mm	150mm	2.5	
<input type="checkbox"/>	ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ	大壁	mm (12mm以上)	N50	150mm	150mm	2.5	
<input type="checkbox"/>	構造用パネル	大壁	mm (12mm以上)	N50	150mm	150mm	2.5	
<input type="checkbox"/>	せっこうボード	大壁	mm (12mm以上)	GNF40orGNC40	150mm	150mm	0.9	
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								
<input type="checkbox"/>								

金物詳細図①：梁受金物（株）タツミ製

■：採用 □：未採用

2025. 05

■ テックワンP3

TH-09

寸法：87×62×40mm t=2.3mm
小梁端：90mm 小梁成：90～120mm 大梁成：105mm以上

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準せん断耐力 (kN)	スギKD材(梁-梁)	5.5
----------------	------------	-----

TH 10

寸法：100×98.5×40mm t=3.2mm
梁成：105～150mm

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	スプルース集成材	スギ集成材	スギKD材
	柱-梁	梁-梁	柱-梁
	せん断	8.0 7.6 7.7 6.7	5.5 5.4
	逆せん断	9.2 6.9 10.3	- 9.5 6.8
	引張	13.6 10.3 14.1 11.9	8.9 12.2

TH 18

寸法：100×135×40mm t=3.2mm
梁成：180～210mm

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	スプルース集成材	スギ集成材	スギKD材
	柱-梁	梁-梁	柱-梁
	せん断	24.3 15.3 19.2 16.6	18.3 15.2
	逆せん断	20.9 16.4 20.4	- 16.6 11.6
	引張	27.1 30.6 25.5 26.0	12.9 15.1

TH 24

寸法：100×205×40mm t=3.2mm
梁成：240～300mm

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	スプルース集成材	スギ集成材	スギKD材
	柱-梁	梁-梁	柱-梁
	せん断	34.9 22.7 36.3 29.4	23.1 19.5
	逆せん断	23.8 22.1 20.2	- 15.5 17.2
	引張	34.8 40.7 30.7 33.4	23.4 28.4

TH 33

寸法：100×275×40mm t=3.2mm
梁成：330～420mm

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	スプルース集成材	スギ集成材	スギKD材
	柱-梁	梁-梁	柱-梁
	せん断	41.5 39.4 45.4 41.9	31.5 30.2
	逆せん断	41.7 32.4 34.9	- 28.4 30.2
	引張	40.3 57.6 33.6 48.2	23.5 41.2

TH 33+10

TH 33・TH 10：2段使い
梁成：450～480mm

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	柱材：スギKD材	横架材：スギ集成材
	柱-梁	梁-梁
	せん断	46.0 52.9
逆せん断・引張	TH 33同値 TH 33同値	

TH 33+18

TH 33・TH 18：2段使い
梁成：510～540mm

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	柱材：スギKD材	横架材：スギ集成材
	柱-梁	梁-梁
	せん断	59.8 65.8
逆せん断・引張	TH 33同値 TH 33同値	

TH 33+24

TH 33・TH 24：2段使い
梁成：570～630mm

金物・接合員位置

材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	柱材：スギKD材	横架材：スギ集成材
	柱-梁	梁-梁
	せん断	65.7 77.4
逆せん断・引張	TH 33同値 TH 33同値	

TH 33+33

TH 33・TH 33：2段使い
柱材：120mm角以上 梁成：660mm

金物・接合員位置

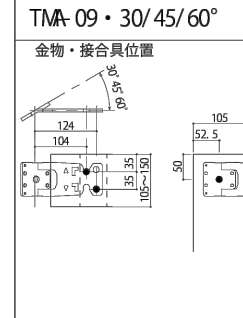
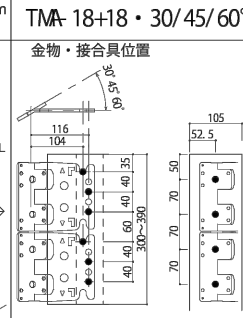
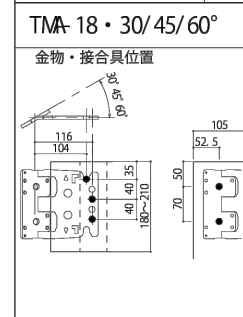
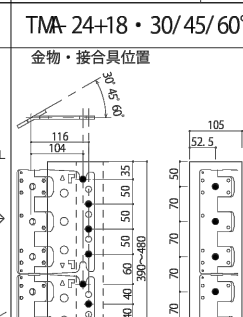
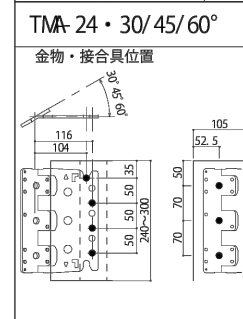
材質・表面処理：金物メーカーの仕様による

短期基準耐力 (kN)	柱材：スプルース集成材	横架材：スギ集成材
	柱-梁	梁-梁
	せん断	75.0 80.6
逆せん断・引張	TH 33同値 TH 33同値	

☐ TN-X(クロス)

<p>TX-1 (90°)</p> <p>寸法: 107.5×79.5×40mm t=3.2mm 柱材: 105mm角以上 梁幅: 90mm以上 梁成: 90°~120mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容せん断耐力 (kN)</td> <td>スギKD材</td> <td>柱・梁</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・梁</td> <td>4.9</td> <td></td> </tr> </table>	短期許容せん断耐力 (kN)	スギKD材	柱・梁	4.5		梁・梁	4.9		<p>TX-4</p> <p>TX: 4連結 梁成: 300°~360mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容耐力 (kN)</td> <td>スプルス集成材</td> <td>スギ集成材</td> <td>スギKD材</td> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>29.4</td> <td>34.6</td> <td>31.1</td> </tr> <tr> <td>逆せん断</td> <td>30.8</td> <td>-</td> <td>26.8</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>42.1</td> <td>52.5</td> <td>35.2</td> </tr> </table>	短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材	せん断	29.4	34.6	31.1	逆せん断	30.8	-	26.8	引張	42.1	52.5	35.2								
短期許容せん断耐力 (kN)	スギKD材	柱・梁	4.5																														
	梁・梁	4.9																															
短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材																														
せん断	29.4	34.6	31.1																														
逆せん断	30.8	-	26.8																														
引張	42.1	52.5	35.2																														
<p>TX-1</p> <p>寸法: 107.5×79.5×40mm t=3.2mm 梁成: 105°~150mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容耐力 (kN)</td> <td>スプルス集成材</td> <td>スギ集成材</td> <td>スギKD材</td> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>9.5</td> <td>8.3</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>逆せん断</td> <td>8.6</td> <td>-</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>14.0</td> <td>16.1</td> <td>13.3</td> </tr> </table>	短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材	せん断	9.5	8.3	6.8	逆せん断	8.6	-	6.2	引張	14.0	16.1	13.3	<p>TX-5</p> <p>TX: 5連結 梁成: 390°~450mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容耐力 (kN)</td> <td>スプルス集成材</td> <td>スギ集成材</td> <td>スギKD材</td> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>38.1</td> <td>46.1</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>逆せん断</td> <td>38.8</td> <td>-</td> <td>39.9</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>49.4</td> <td>57.6</td> <td>35.2</td> </tr> </table>	短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材	せん断	38.1	46.1	35.4	逆せん断	38.8	-	39.9	引張	49.4	57.6	35.2
短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材																														
せん断	9.5	8.3	6.8																														
逆せん断	8.6	-	6.2																														
引張	14.0	16.1	13.3																														
短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材																														
せん断	38.1	46.1	35.4																														
逆せん断	38.8	-	39.9																														
引張	49.4	57.6	35.2																														
<p>TX-2</p> <p>TX: 2連結 梁成: 180°~210mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容耐力 (kN)</td> <td>スプルス集成材</td> <td>スギ集成材</td> <td>スギKD材</td> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>21.1</td> <td>16.3</td> <td>15.7</td> </tr> <tr> <td>逆せん断</td> <td>13.6</td> <td>-</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>27.6</td> <td>27.4</td> <td>23.5</td> </tr> </table>	短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材	せん断	21.1	16.3	15.7	逆せん断	13.6	-	12.5	引張	27.6	27.4	23.5	<p>TX-5</p> <p>TX: 5連結 梁成: 390°~450mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容耐力 (kN)</td> <td>スプルス集成材</td> <td>スギ集成材</td> <td>スギKD材</td> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>38.1</td> <td>46.1</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>逆せん断</td> <td>38.8</td> <td>-</td> <td>39.9</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>49.4</td> <td>57.6</td> <td>35.2</td> </tr> </table>	短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材	せん断	38.1	46.1	35.4	逆せん断	38.8	-	39.9	引張	49.4	57.6	35.2
短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材																														
せん断	21.1	16.3	15.7																														
逆せん断	13.6	-	12.5																														
引張	27.6	27.4	23.5																														
短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材																														
せん断	38.1	46.1	35.4																														
逆せん断	38.8	-	39.9																														
引張	49.4	57.6	35.2																														
<p>TX-3</p> <p>TX: 3連結 梁成: 240°~300mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容耐力 (kN)</td> <td>スプルス集成材</td> <td>スギ集成材</td> <td>スギKD材</td> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>25.6</td> <td>29.0</td> <td>22.2</td> </tr> <tr> <td>逆せん断</td> <td>21.5</td> <td>-</td> <td>19.4</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>31.6</td> <td>41.4</td> <td>28.7</td> </tr> </table>	短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材	せん断	25.6	29.0	22.2	逆せん断	21.5	-	19.4	引張	31.6	41.4	28.7	<p>TX-5</p> <p>TX: 5連結 梁成: 390°~450mm</p> <p>金物・接合具位置</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <td>短期許容耐力 (kN)</td> <td>スプルス集成材</td> <td>スギ集成材</td> <td>スギKD材</td> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>38.1</td> <td>46.1</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>逆せん断</td> <td>38.8</td> <td>-</td> <td>39.9</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>49.4</td> <td>57.6</td> <td>35.2</td> </tr> </table>	短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材	せん断	38.1	46.1	35.4	逆せん断	38.8	-	39.9	引張	49.4	57.6	35.2
短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材																														
せん断	25.6	29.0	22.2																														
逆せん断	21.5	-	19.4																														
引張	31.6	41.4	28.7																														
短期許容耐力 (kN)	スプルス集成材	スギ集成材	スギKD材																														
せん断	38.1	46.1	35.4																														
逆せん断	38.8	-	39.9																														
引張	49.4	57.6	35.2																														

□ 水平斜め梁受金物：TN-multi 水平斜め梁受用途

<p>TMA-09・30/45/60°</p> <p>寸法: 135.5×68×64mm t=6mm 梁成: 105~150mm</p> <p>※斜線部: 有無問わず</p>  <p>※斜線部: 有無問わず</p> <p>30° 135~143</p> <p>45° 140~143</p> <p>60° 140~143</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <th>短期基準耐力(kN)</th> <th>30°</th> <th>45°</th> <th>60°</th> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>4.4</td> <td>4.6</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>8.3</td> <td>9.2</td> <td>11.4</td> </tr> </table>	短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°	せん断	4.4	4.6	4.4	引張	8.3	9.2	11.4	<p>TMA-18・30/45/60°</p> <p>寸法: 127×138×64mm t=6mm 梁成: 180~210mm</p> <p>※斜線部: 有無問わず</p>  <p>※斜線部: 有無問わず</p> <p>30° 140~143</p> <p>45° 140~143</p> <p>60° 140~143</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <th>短期基準耐力(kN)</th> <th>30°</th> <th>45°</th> <th>60°</th> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>30.1</td> <td>28.1</td> <td>31.2</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>8.3</td> <td>16.3</td> <td>19.2</td> </tr> </table>	短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°	せん断	30.1	28.1	31.2	引張	8.3	16.3	19.2
短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°																						
せん断	4.4	4.6	4.4																						
引張	8.3	9.2	11.4																						
短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°																						
せん断	30.1	28.1	31.2																						
引張	8.3	16.3	19.2																						
<p>TMA-18・30/45/60°</p> <p>寸法: 127×138×64mm t=6mm 梁成: 180~210mm</p> <p>※斜線部: 有無問わず</p>  <p>※斜線部: 有無問わず</p> <p>30° 140~143</p> <p>45° 140~143</p> <p>60° 140~143</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <th>短期基準耐力(kN)</th> <th>30°</th> <th>45°</th> <th>60°</th> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>14.9</td> <td>14.2</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>8.3</td> <td>16.3</td> <td>19.2</td> </tr> </table>	短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°	せん断	14.9	14.2	14.4	引張	8.3	16.3	19.2	<p>TMA-24+18・30/45/60°</p> <p>寸法: 127×208×64mm t=6mm 梁成: 240~300mm</p> <p>※斜線部: 有無問わず</p>  <p>※斜線部: 有無問わず</p> <p>30° 140~143</p> <p>45° 140~143</p> <p>60° 140~143</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <th>短期基準耐力(kN)</th> <th>30°</th> <th>45°</th> <th>60°</th> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°	せん断				引張			
短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°																						
せん断	14.9	14.2	14.4																						
引張	8.3	16.3	19.2																						
短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°																						
せん断																									
引張																									
<p>TMA-24・30/45/60°</p> <p>寸法: 127×208×64mm t=6mm 梁成: 240~300mm</p> <p>※斜線部: 有無問わず</p>  <p>※斜線部: 有無問わず</p> <p>30° 140~143</p> <p>45° 140~143</p> <p>60° 140~143</p> <p>材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による</p> <table> <tr> <th>短期基準耐力(kN)</th> <th>30°</th> <th>45°</th> <th>60°</th> </tr> <tr> <td>せん断</td> <td>27.3</td> <td>27.8</td> <td>29.5</td> </tr> <tr> <td>引張</td> <td>8.3</td> <td>16.3</td> <td>19.2</td> </tr> </table>	短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°	せん断	27.3	27.8	29.5	引張	8.3	16.3	19.2													
短期基準耐力(kN)	30°	45°	60°																						
せん断	27.3	27.8	29.5																						
引張	8.3	16.3	19.2																						

□ 登り梁受金物：GD

GD-180

寸法: 128×210×40mm t=3.2mm
梁成: 180~210mm 勾配: 4~10寸

GD-240

寸法: 128×280×40mm t=3.2mm
梁成: 240~300mm 勾配: 4~10寸

材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による

勾配	せん断		逆せん断		引張		※左記耐力値と 試験時木材規格は メーカー発行の 技術資料を参照
	柱	梁	柱	梁	柱	梁	
4寸	10.4	10.7	10.7	-	15.5	17.9	
10寸	16.3	-	15.1	-	20.7	-	

短期基準耐力 (kN)

材質・表面処理: 金物メーカーの仕様による

勾配	せん断		逆せん断		引張		※左記耐力値と 試験時木材規格は メーカー発行の 技術資料を参照
	柱	梁	柱	梁	柱	梁	
4寸	31.2	16.2	29.6	-	21.5	34.9	
10寸	32.0	-	29.1	-	25.6	-	

短期基準耐力 (kN)

加工・施工要領

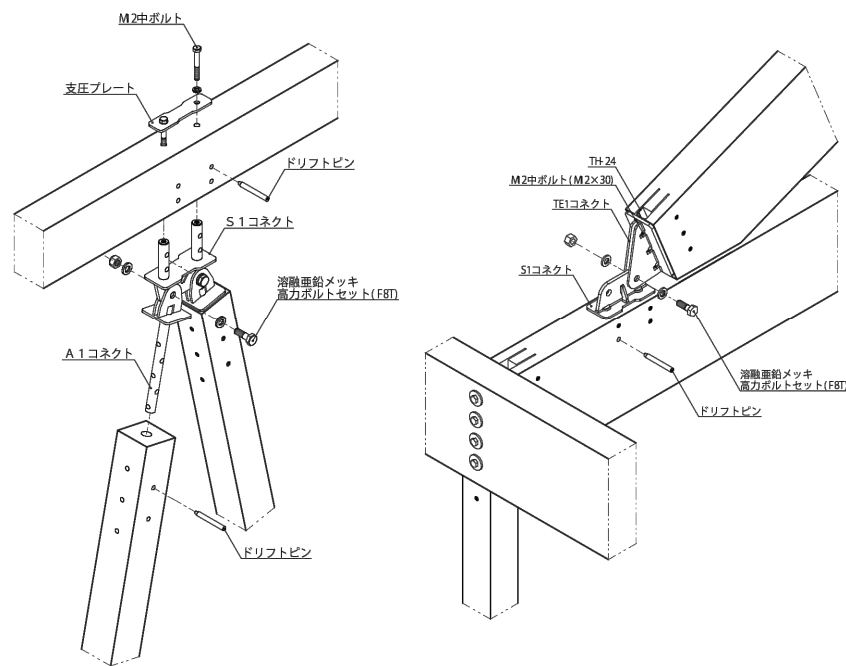
メーカーが発行する技術資料に
準じて加工・施工を行うこと

工事件名	水防センター建設工事	図面名称	トラス接合金物標準図 1	議 決	-	日野市総務部建築営繕課	株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉	作成年月日	図 面 番 号	S08
工事箇所	東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部							令和7年 月 日		

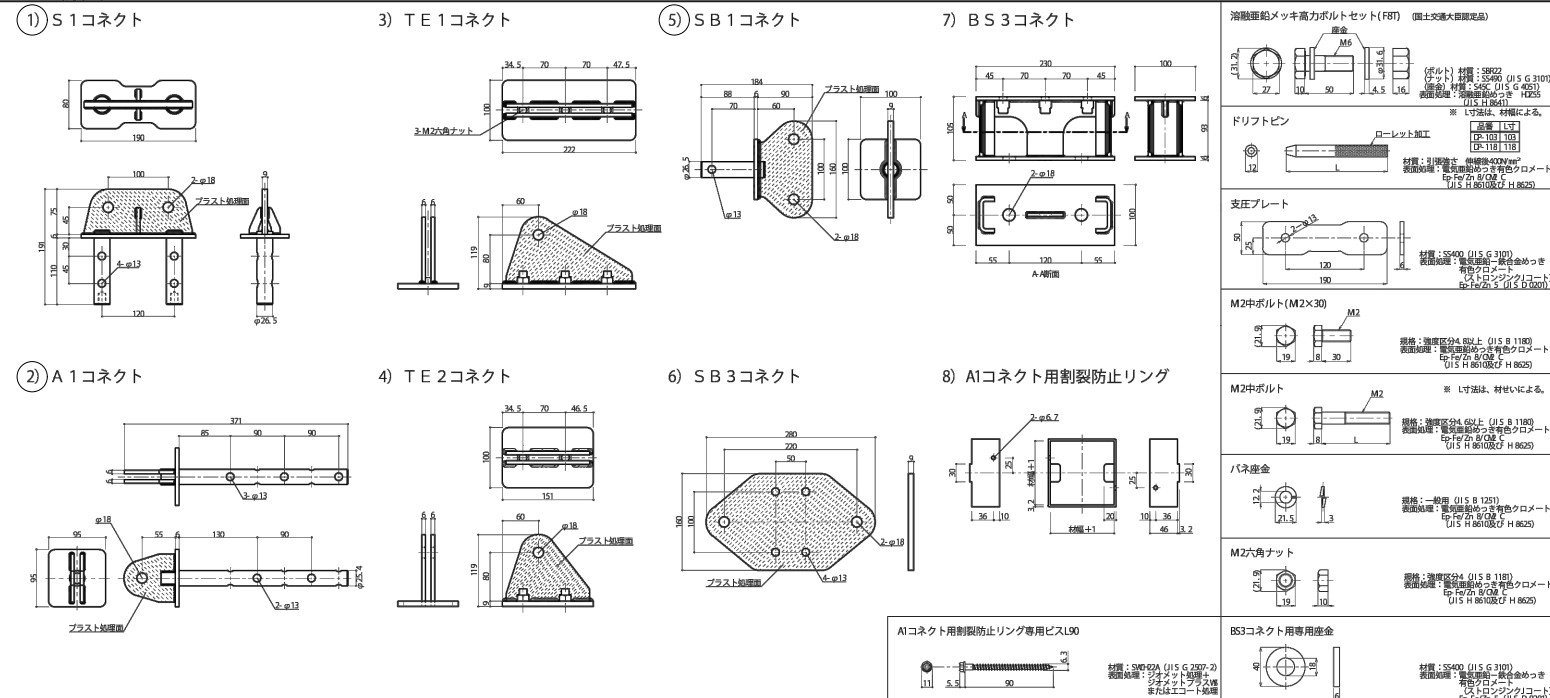
テックワンP3プラス接合システム 標準図

2025.04版

1. 接合部の構成例

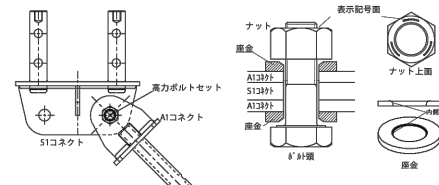


2. 金物図

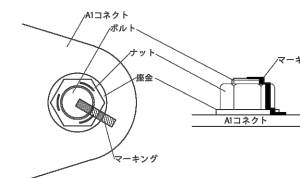


6. 施工及び管理

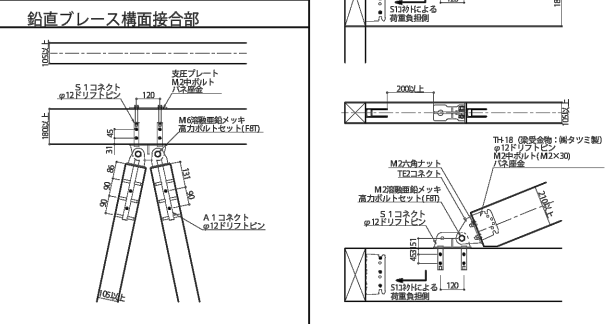
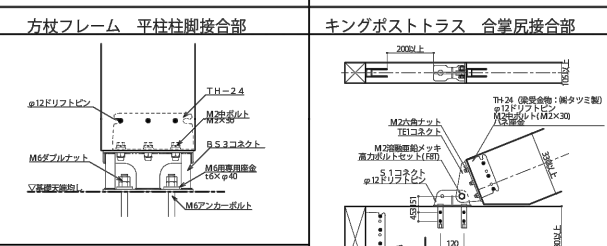
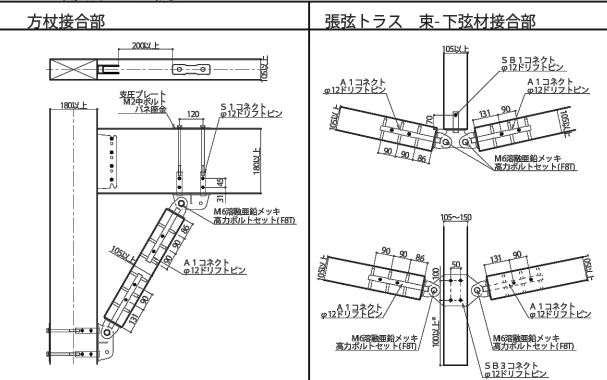
- a) 高力ボルトの締め付けは、株式会社タツミ（または同社が認める者）の開催する施工技術講習会を修了した者（技術者）、または技術者から施工要領の説明を受けた者（技能者）が行う。
- b) 高力ボルトのねじ山等に異常がないかを確認する。
- c) プラスト処理面に油や汚れの付着がないを確認し、あった場合は脱脂材等で適切に除去する。
- d) ボルト頭下、ナット下のそれぞれに座金を1枚ずつ敷く。ナットは表示記号のある側が表とし、座金は内側面取り部分が表となるようにする。



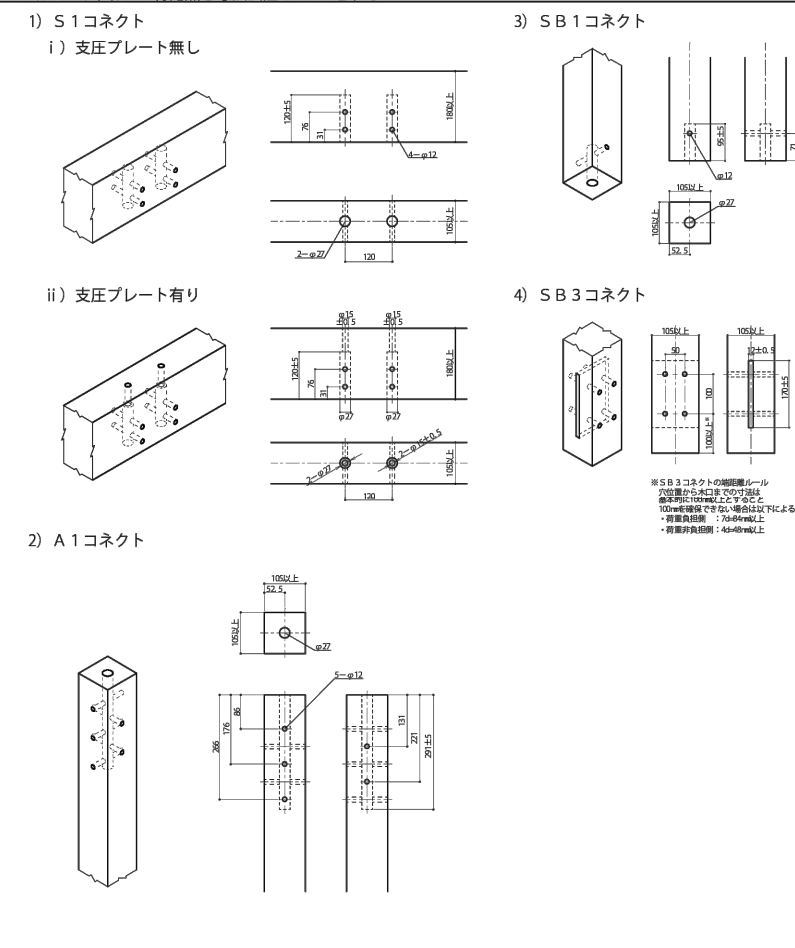
- e) 全箇所では組込みを行い、部材の密着を確認する。
- f) 全箇所ではトルクレンチにてトルク値100N・mで1次締めをする。
- その後、ボルト・ナット・座金・金物本体にかけてマーキングを行う。



3. 金物納まり例

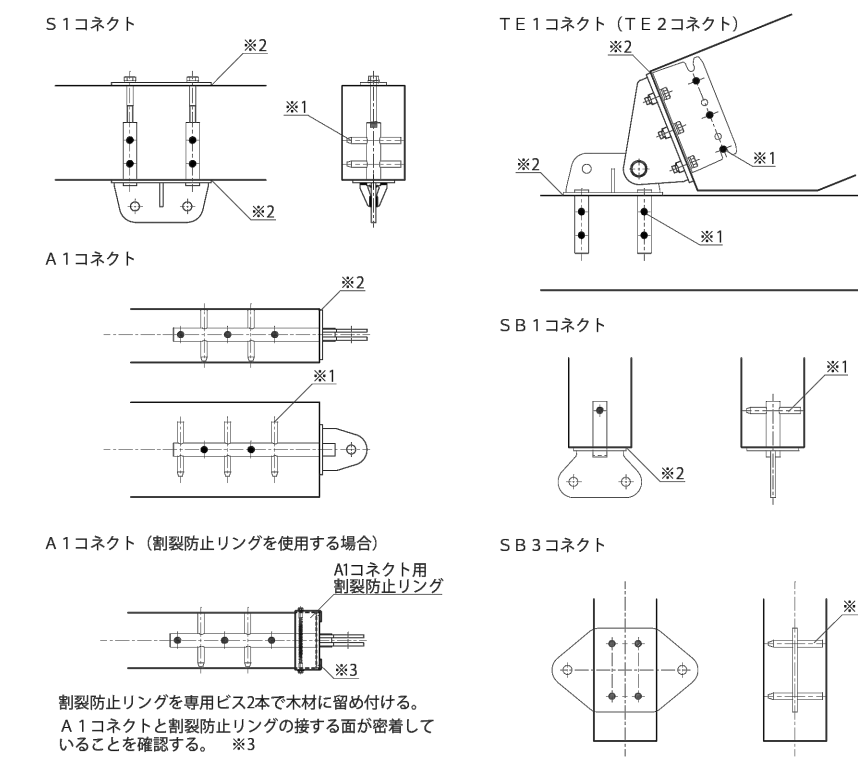


4. 加工詳細 ※特記無き寸法公差は±0.1とする

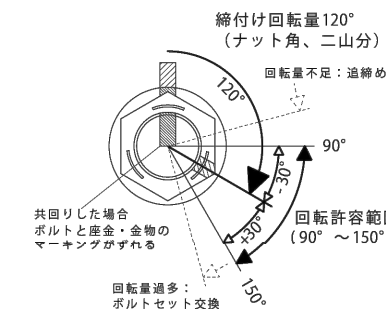


5. 金物取付

- 1) 金物の取付はプレカット工場に行うことを基本とし、建て方工事に支障がある個所については工場にて取り付けることとする。
- 2) 加工ミス等がないことを確認して金物を取付ける。
- 3) 専用のドリフトピンで金物を木材に固定する。
- 4) ドリフトピンが金物芯から均等振り分けに打ち込まれていることを確認する。 ※1
- 5) 金物と木材の接する面が密着していることを確認する。 ※2
- 6) 輸送中に金物が傷つかないように、りん木（パッキン材）等を用いて結束し、摩擦接合する面に傷がつかないように養生を行う。



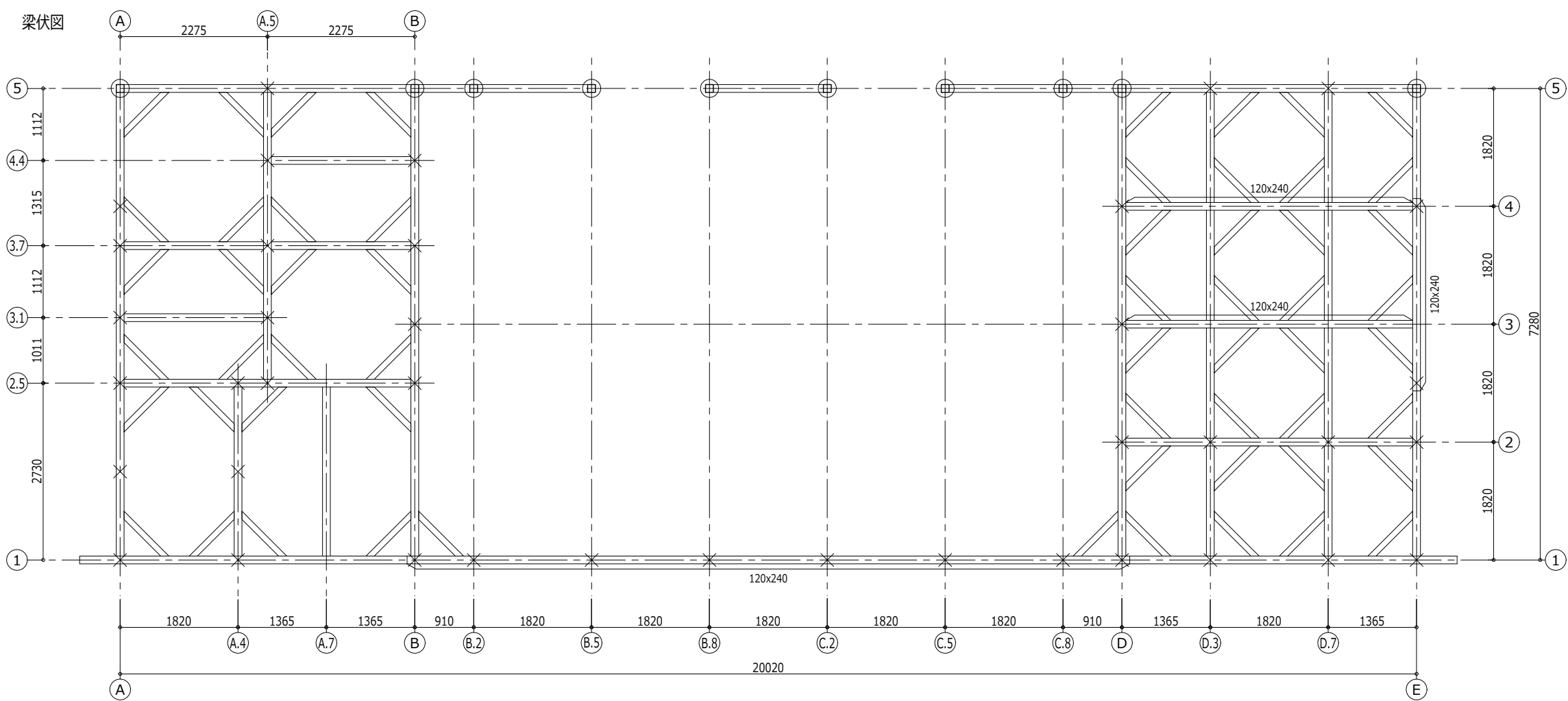
- g) 全箇所のマーキング作業終了後、本締めを行う。ナットの回転量はマーキングを基準として $120^{\circ} \pm 30^{\circ}$ とする。
- h) 全箇所のボルトにてマーキングを基準にしたナット回転量について目視検査を行う。
 - i) ナット回転量が $90^{\circ} \sim 150^{\circ}$ の範囲は合格とする。
 - ii) ナット回転量が 90° 未満のものは追締めを行う。
 - iii) ナット回転量が 150° を超えたものはボルトセットを取り換える。
 - iv) 3回繰り返したボルトセットは取り換える。
 - v) 一度使用した高力ボルトは再使用してはならない。



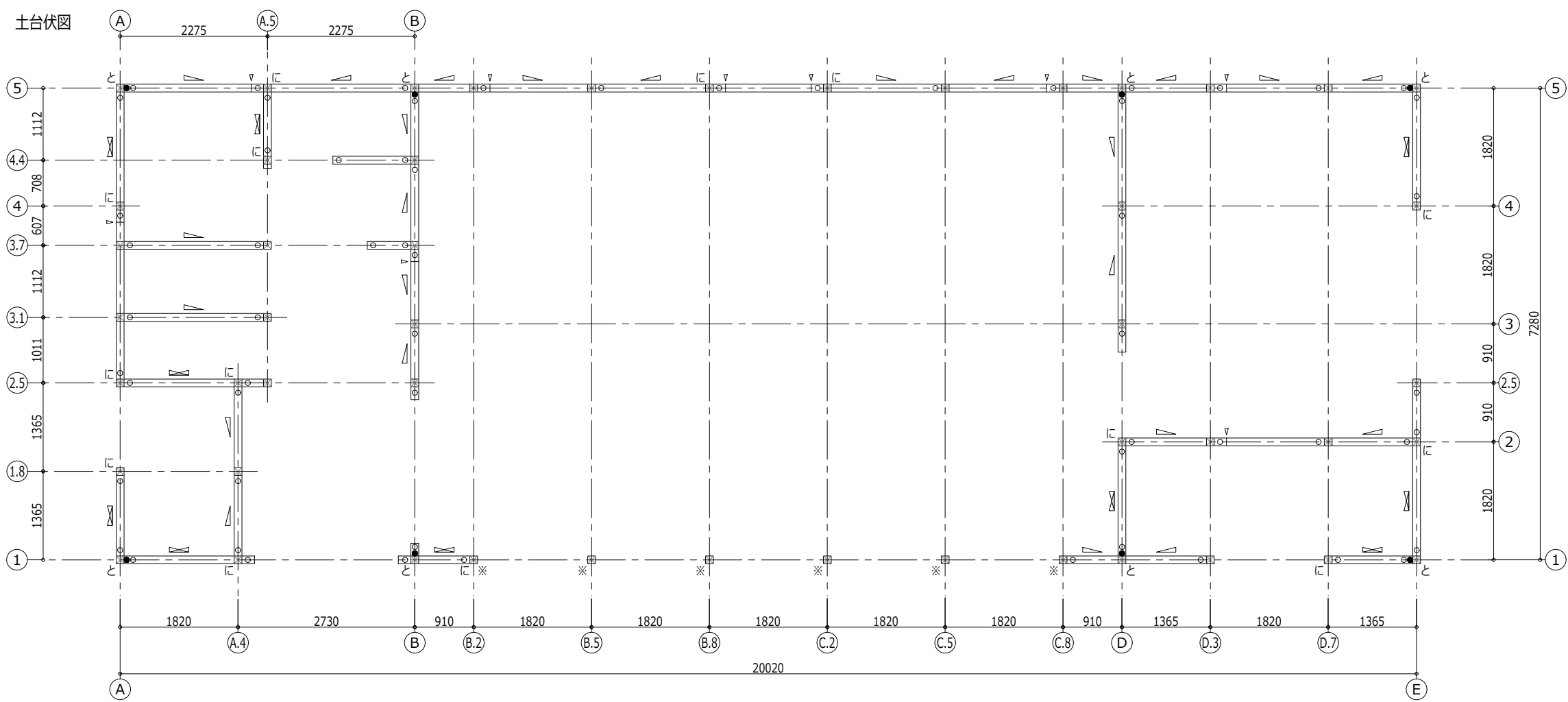
- i) 技術者は施工完了後、全箇所の高力ボルトが適切に施工されていることを確認し、次の項目を含む報告書を作成し、監督者に提出する。
- ・ 工事名・建設地・施工会社名・施工者名・木材加工業者名
 - ・ 施工チェックシート・代表的な施工写真
 - ・ 全箇所の施工が確認できる図書
- j) 監督者は上記の報告書を確認後、株式会社サツミに提出する。

- j) 監督者は上記の報告書を確認後、株式会社タツミに提出する。

工事件名	水防センター建設工事	図面名称	トラス接合金物標準図 2	縮尺	-	日野市総務部建築営繕課	株式会社スグウラ・アーキテクトズ級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉	作成年月日	図面番号	S09
工事箇所	東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部							令和7年 月 日		



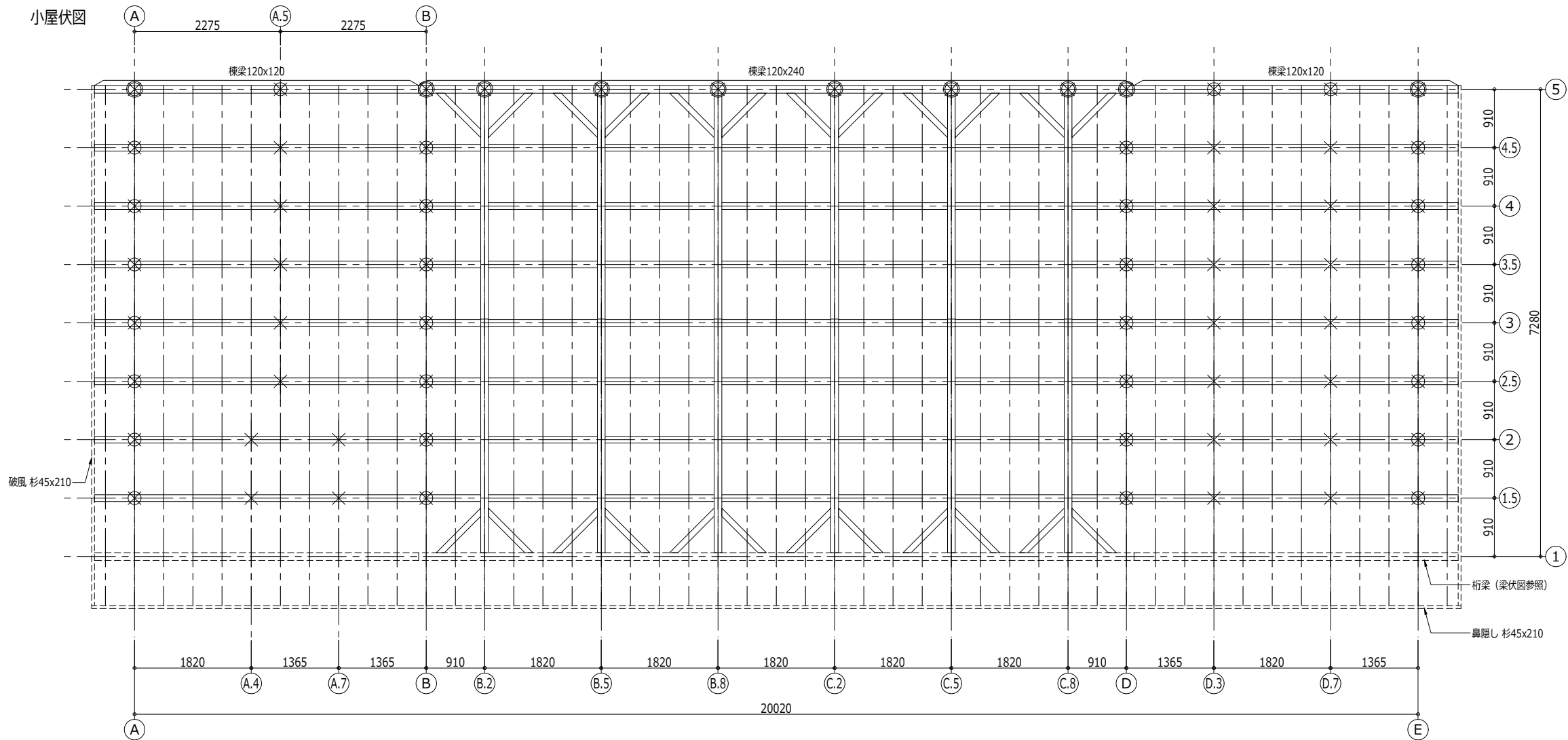
- 通し柱 120x120 米松または赤松E95以上
- × 下部柱 120x120 米松または赤松E95以上
- 梁 米松または赤松E105以上 特記なきもの120x120
- 〳 火打 90x90 米松または赤松E105以上



- アンカーボルトM12 L=450
- ホールダウン金物 15kN
- △ 筋交い 45x90 杉 (シングル)
- ▤ 筋交い 45x90 杉 (ダブル)
- ▽ 土台継手位置
- 土台 120x120 米松 (防腐防蟻処理)
- に・と 柱頭・柱脚の接合方法 (S-06図参照・告示1460号表3)
特記なき柱は (は) とする
- ※ 柱受金物: BXカネシンSH-118または同等品

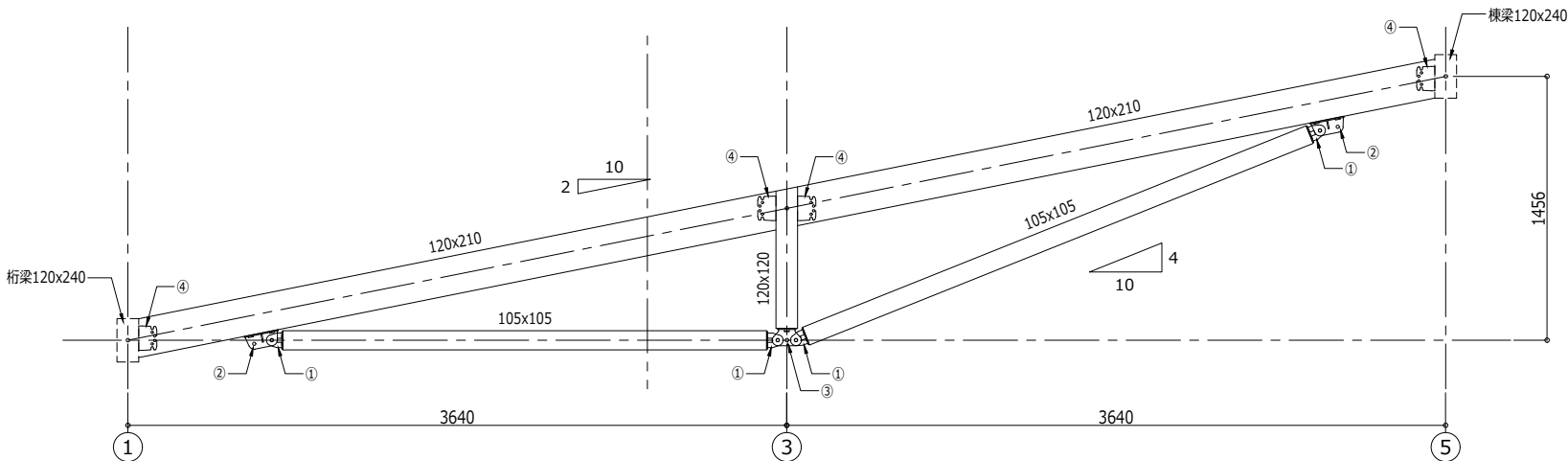
工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部	
図面名称	伏図2		1/80
	図面番号		S11
作成年月日		令和7年 月 日	
日野市総務部建築営繕課 株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉			

小屋伏図



- ⊗ 下部通し柱 120x120 米松または赤松E95以上
- ⊗ 下部小屋束 120x120 米松または赤松E95以上
- × 下部小屋束 105x105 米松または赤松E95以上
- || トラス(B.2~C.8通) 下図参照
- == 棟梁(5通) 米松または赤松E105以上
- == 母屋 105x105 米松または赤松E105以上
- \\ 火打 90x90 米松または赤松E105以上
- | 垂木 45x90 @455 米松または赤松

トラス詳細図

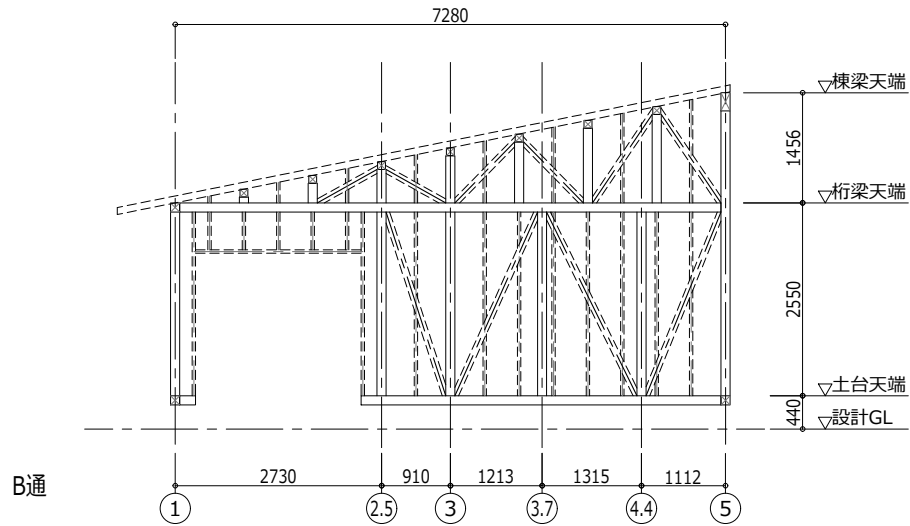


トラス材：米松または欧州赤松 対称異等級構成集成材 E105-F300以上

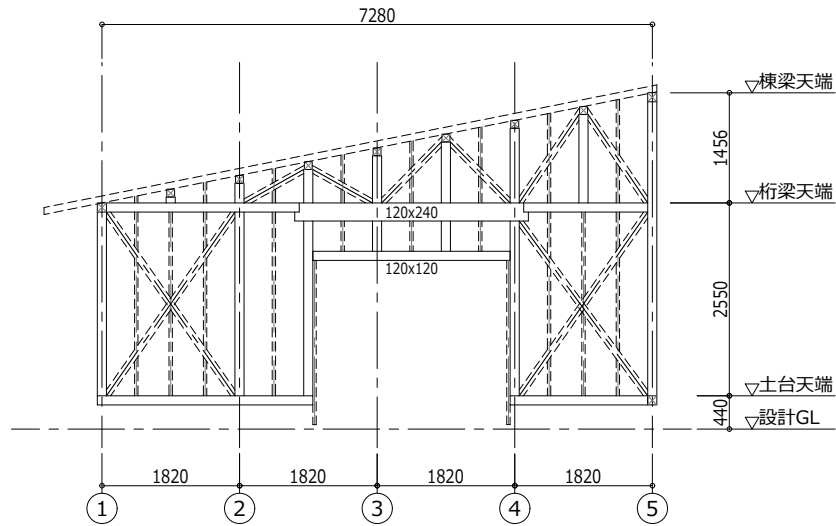
接合金物：タツミ テックワンP3プラス接合システム

- ① A1コネクト
- ② S1コネクト
- ③ SB1コネクト
- ④ TH-18 (タツミ製または同等品)

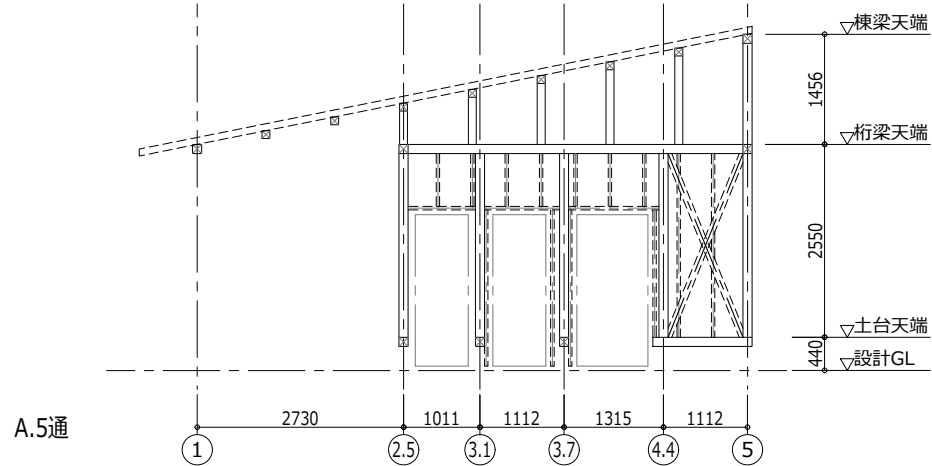
工事件名	水防センター建設工事		
工事箇所	東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部		
図面名称	伏図3 トラス詳細図		縮尺 1/80 1/40
	作成年月日	令和7年 月 日	図面番号
日野市総務部建築営繕課 株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉			S12



B通

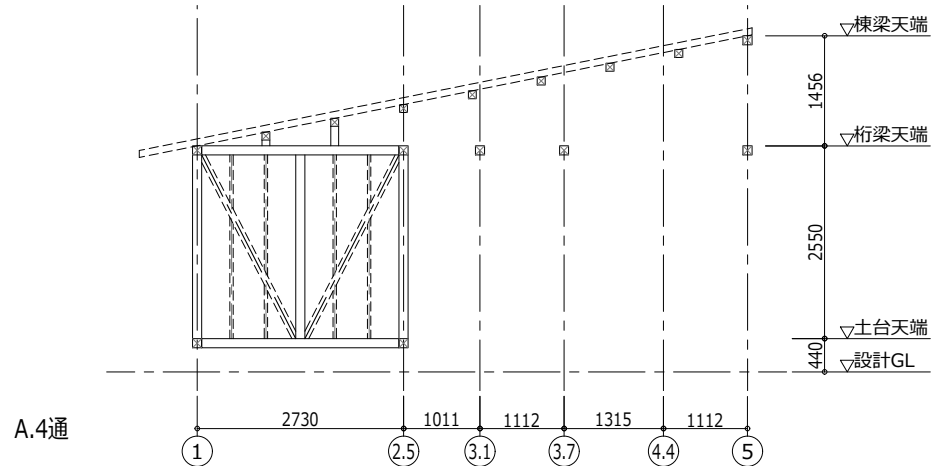
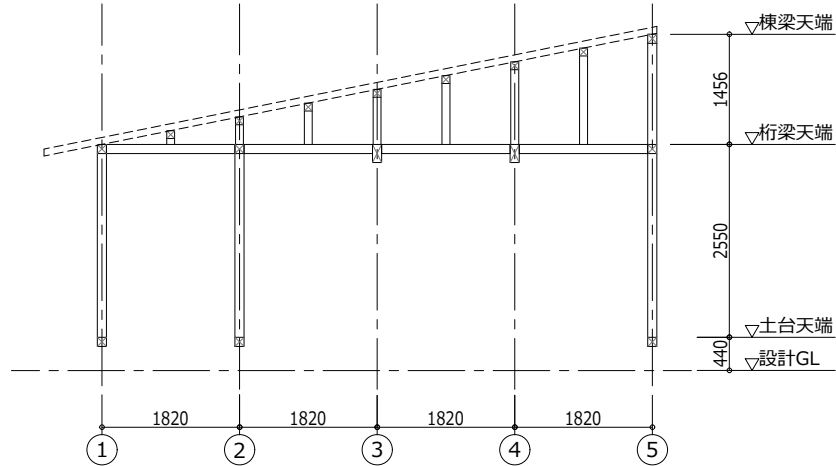


E通



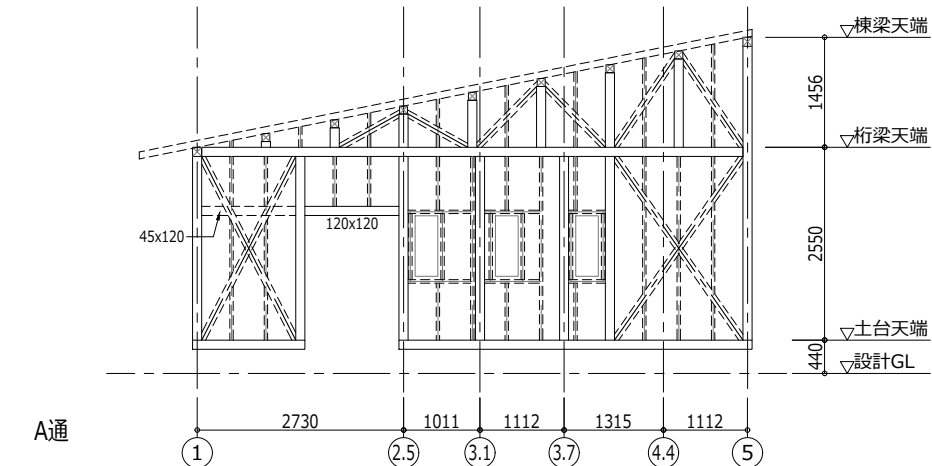
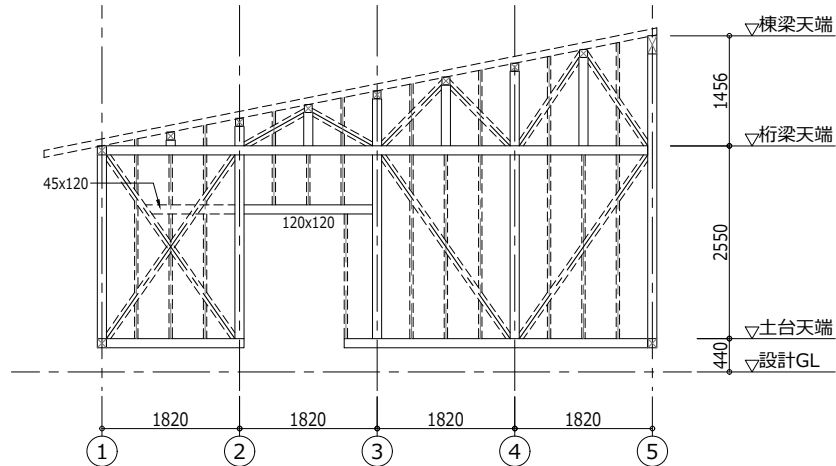
A.5通

D.3/D.7通



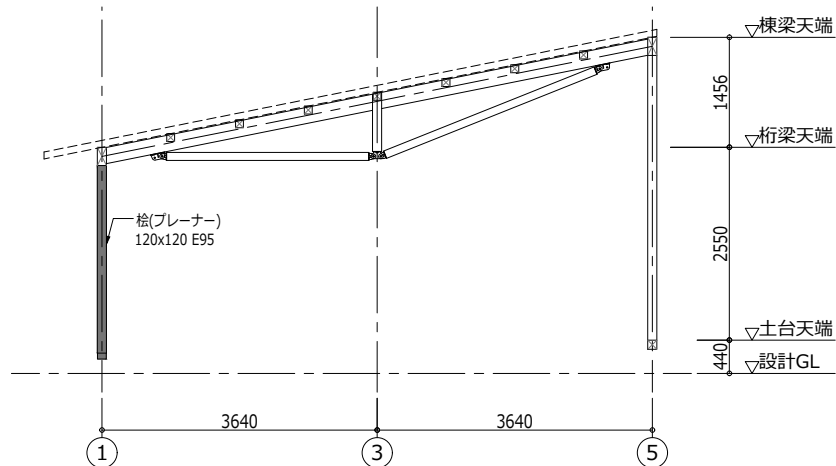
A.4通

D通



A通

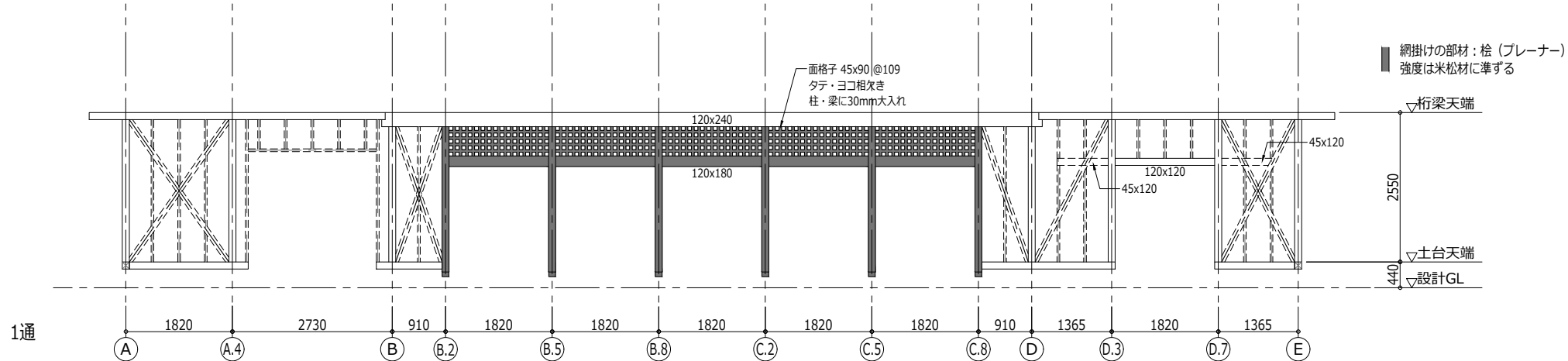
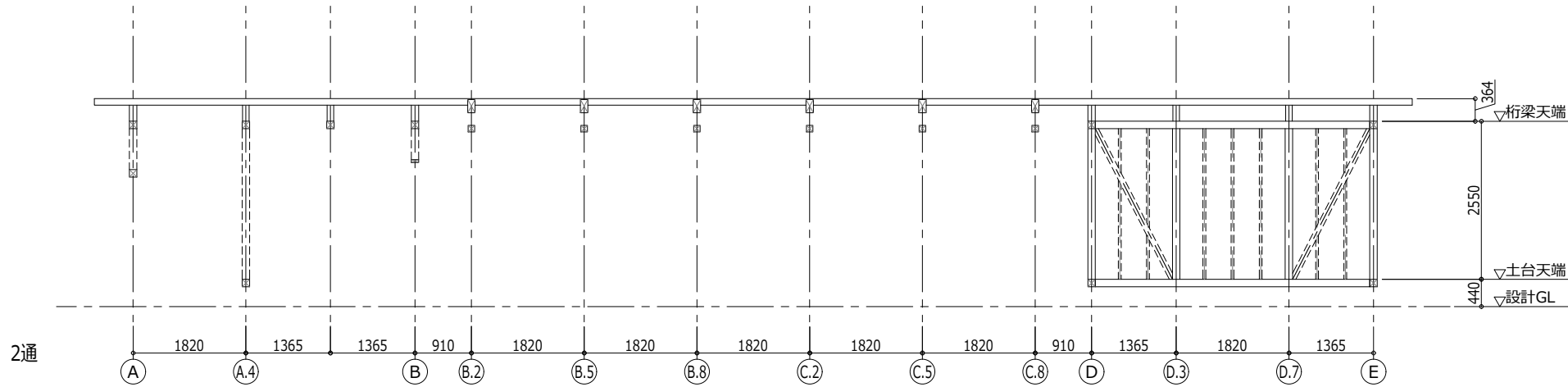
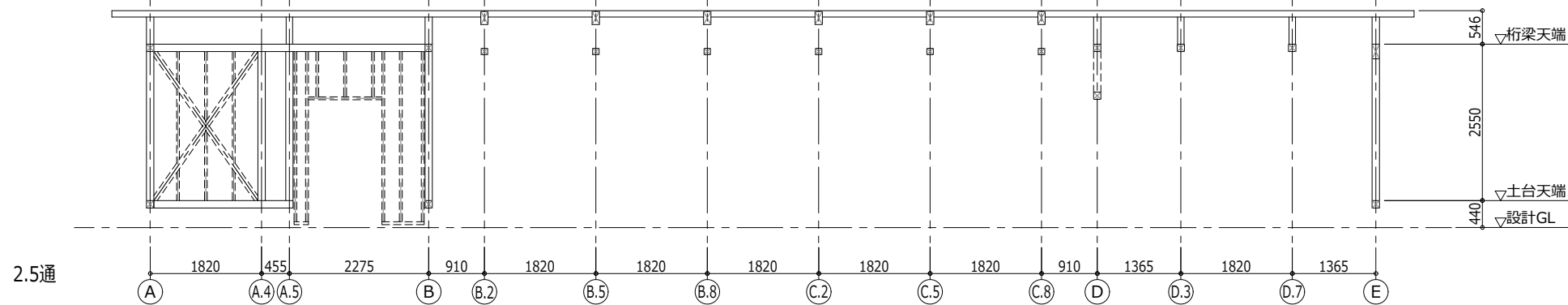
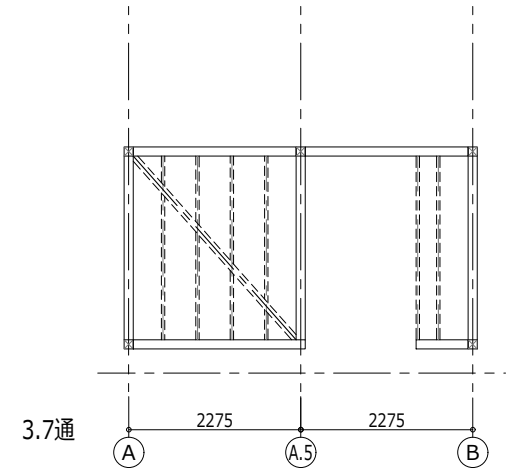
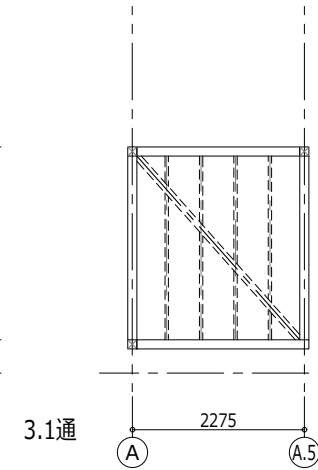
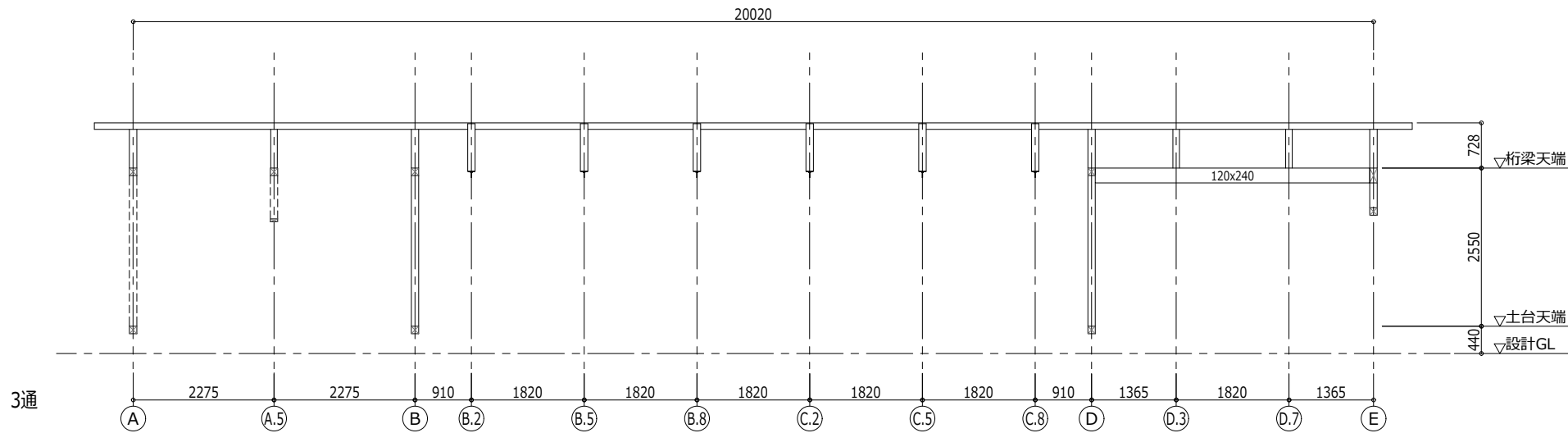
B.2/B.5/B.8通
C.2/C.5/C.8通



特記なき部材は以下の通り

土台：120x120 米松（防腐防蟻処理）
柱：120x120 米松または赤松E95以上
間柱・まぐさ・窓台：45x120 杉
筋交い：45x90 杉
梁：120x120 米松または赤松E105以上
小屋束(A/B/D/E通)：120x120 米松または赤松E95以上
小屋束(A.4/A.5/A.7/D.3/D.7通)：105x105 米松または赤松E95以上
母屋：105x105 米松または赤松E105以上
垂木：45x90 米松または赤松
トラス：（詳細図参照）

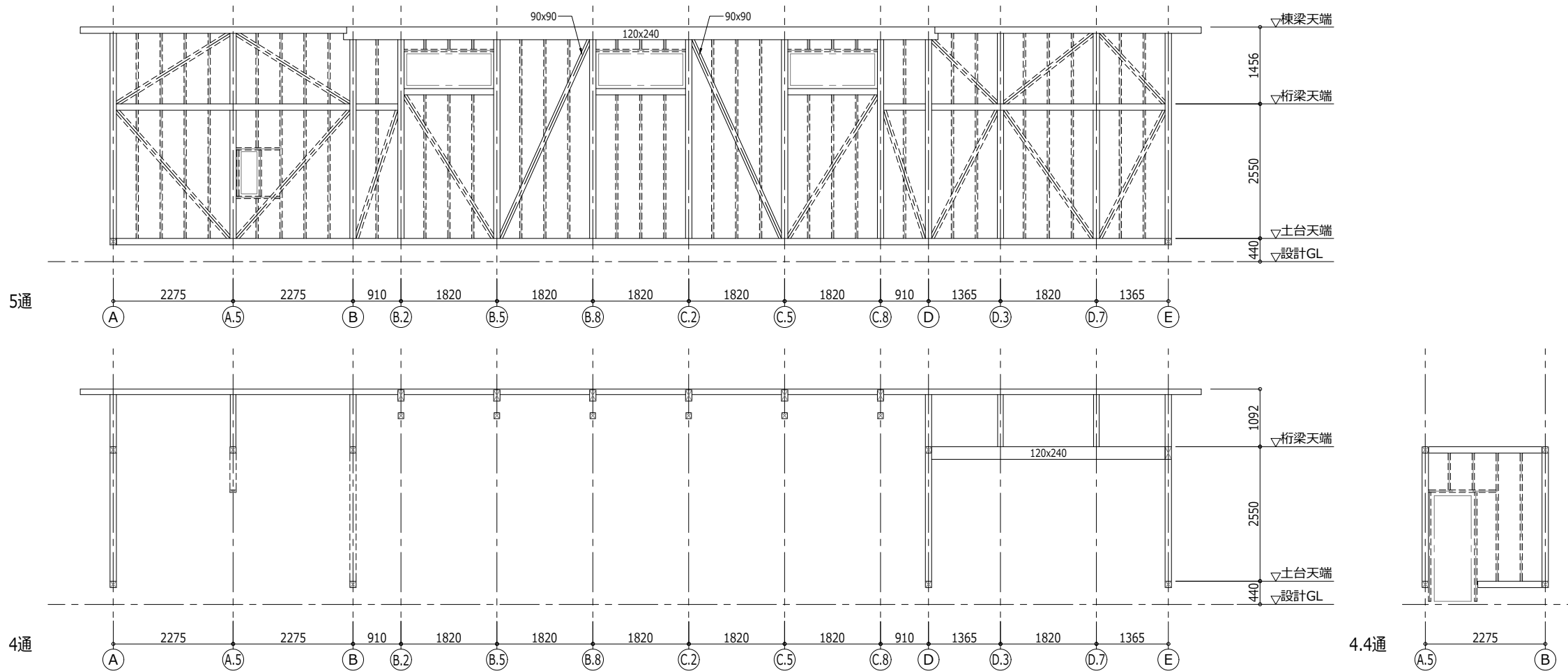
工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部	
図面名称	軸組図1		縮尺
作成年月日		令和7年 月 日	図面番号
日野市総務部建築営繕課 株式会社スギウラ・アーキテクト一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉			S13



特記なき部材は以下の通り

土台：120x120 米松（防腐防蟻処理）
柱：120x120 米松または赤松E95以上
間柱・まぐさ・窓台：45x120 杉
筋交い：45x90 杉
梁：120x120 米松または赤松E105以上
小屋束(A/B/D/E通)：120x120 米松または赤松E95以上
小屋束(A.4/A.5/A.7/D.3/D.7通)：105x105 米松または赤松E95以上
母屋：105x105 米松または赤松E105以上
垂木：45x90 米松または赤松
トラス：（詳細図参照）

工事件名		水防センター建設工事	
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部	
図面名称	軸組図2		縮 尺
作成年月日		令和7年 月 日	図面番号
日野市総務部建築営繕課 株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉			S14



特記なき部材は以下の通り

土台：120x120 米松（防腐防蟻処理）
柱：120x120 米松または赤松E95以上
間柱・まぐさ・窓台：45x120 杉
筋交い：45x90 杉
梁：120x120 米松または赤松E105以上
小屋束(A/B/D/E通)：120x120 米松または赤松E95以上
小屋束(A.4/A.5/A.7/D.3/D.7通)：105x105 米松または赤松E95以上
母屋：105x105 米松または赤松E105以上
垂木：45x90 米松または赤松
トラス：（詳細図参照）

工事件名		水防センター建設工事		
工事箇所		東京都日野市石田一丁目979-1,979-3,210-1,1002の各一部		
図面名称	軸組図3		縮尺	1/100
作成年月日		令和7年 月 日		図面番号
日野市総務部建築営繕課 株式会社スギウラ・アーキテクツ一級建築士事務所 (東京都知事登録第58345号) 一級建築士第214974号 杉浦友哉				S15